

# 八代の畳をヨーロッパへ！



## イギリス・ドイツ・オーストリア におけるいぐさ市場調査留学

トビタテ！留学JAPAN 地域人材コース9期生

熊本県立大学 総合管理学科

平井慎一郎

# 留学の目的と目標

## 現状

熊本県南に位置する八代は日本で9割を超える畳表の原料となるいぐさの生産地である。しかし、海外からの輸入畳表や生活様式の変化によって衰退が進んでおり、今は20年前と比較して9割も生産量が減り、国内のいぐさ生産は危機的状況である。

## 動機

大学のゼミで八代の畳屋さんへお話を伺った際、いぐさの現状を聞き、日本の伝統文化がなくなってしまうことへの危機感を覚えた。これをきっかけにいぐさについて調べるようになり、大学内外での活動を始める。これまで2年間海外に留学していたことから、馴染みのある海外へ輸出できないかと考え試行錯誤し始める。

## 目的

国産のいぐさ文化を守るべく、産地へお金が回る仕組みを考える。ヨーロッパ地域をターゲットに、輸出を目的として現地で市場調査を行う。

## 目標

現地で提案予定の置き畳（半畳サイズの畳表）を予め自分でデザインして制作し、持参する。現地での調査を通して輸出するにあたり産地へ情報を還元していく。現地でのコネクションも作り、活動後の繋がりを作る。

# 留学事前活動内容

## 事前国内インターシップ編

インターン期間：2018年4月～



八代の千丁町にある、北川重義商店様の北川社長にインターン先としてお世話になりました。留学前の1年間で、いぐさの歴史や特徴など、いぐさに関する勉強させていただき、現地で調査するにあたり使用する置き畳の作成と一緒にさせていただきました！



台湾で行われた熊本県フェアに北川社長と参加！実際に海外の人がいぐさをどう思っているか知る機会になりました！



北川社長から東南アジアにもいぐさ文化があると聞き、いぐさを探しに一人現地調査旅へ！現地ですごくモダンな畳商品を発見！置き畳を作る時の参考になりました！



インターンを通して国内外においていぐさの勉強させていただき、留学で使用する置き畳の制作を行いました。畳にもグレードがあったり、染料の種類が豊富だったり、畳制作を通していぐさのことを実践的に学ぶことができました！また、いぐさを通して八代の地域の方と関わる機会が増え、いつも優しく協力してくださる地域の方との交流を通して、地域を盛り上げることへの楽しさを感じました。



# 留学活動内容

イギリス編

期間：2019年4月～6月

現地の語学学校でビジネス英語を身につける！



現地での市場調査するにあたり、語学力をつけるためにロンドンの語学学校へ。ビジネスイングリッシュコースを受講し、ビジネスの場で戦える英語力をつけることに挑戦します。



世界中から集まっているクラスのみんな。入学当初はみんな英語ペラペラで自分の英語力に自信を無くしてしまいました。。。

まずはクラスのみんなを知って仲良くなろう！という気持ちからみんなを誘いランチを食べに行ったりしました。次第にみんなと打ち解けて、会話することへの恐怖を無くすことに成功しました。



イギリスはお茶の消費量が盛ん！ということで現地のお茶屋さんへ飛び込みでいぐさ茶の提案をさせて欲しい！とお願いしました。いいよ！きて！と快諾してもらい、年に一度のお茶の取扱先を選定するテイスティングの日にお邪魔して、いぐさ茶の魅力をプレゼンしました。結果的に取引が成立することにはなりませんでした。いぐさの魅力を知ってもらえるいい機会となりました。



# ドイツ編

期間：2019年6月～9月

現地でのアンケート調査を通し、いぐさの可能性を探る！



フランクフルトにある、現地で納豆を製造・販売している会社にてインターンさせていただきました。実際に日本の食の伝統として知られる納豆を現地でどのようにPRしているのか。また催事の際はいぐさ商品を露店に並べて現地の人々がどう感じるのか、アンケート調査を行いました。

イギリスにいたときから、いぐさの可能性を探るため、会う人みんなに畳の写真を見せて意見を聞いていたが、やはり輸送コストが高いところから畳の値段を聞いた反応は悪く、これからどうやっていぐさを売っていくか苦戦し壁にぶつかります。。



畳を活用していぐさをPRする計画を変更し、畳として使わないいぐさ製品としていぐさの可能性を探ることを決意。現地のエシカル消費の動向に着目して実際に消費者がどのようなエシカル要素を購入動機に考えているのかをアンケート調査しました。結果として現地の消費者は普段から消耗品を買う際に、エシカル消費を考慮して購買行動をとっていることがわかりました。これらの結果をもとに今後のいぐさの新商品開発に役立てていきます。



実際にアンケート調査で使ったいぐさ商品。八代のいぐさ関係者の方に協賛していただき、アンケート調査をすることができました。

実際のアンケート調査の様子。三日間合計106人にアンケート調査をしました。

# オーストリア編 期間：2019年10月～2020年1月

現地バイヤーの元で貿易実務の勉強やいぐさについての可能性を探る



オーストリアでは日本の商品を現地で展開しているバイヤーさんの元でインターンさせていただきました。こちらでは輸出入のノウハウやバイヤー視点での日本の商品がどう魅力に感じるのかを勉強させていただきました。

イタリアのインテリア会社からインターンでお世話になった北川商店さんへ畳の問い合わせがあり、海外窓口担当として任せて頂けることに！インターン先のバイヤーさんにアドバイスをいただきながらこれまで学んだ知識を活かしながら対応させていただきました。



イタリアの会社との交渉を何度も繰り返し、ようやくサンプルを注文していただいたときの写真です。イギリスで学んだビジネス英語を活かして、言葉一つ一つを選びながら交渉を行いました。試行錯誤しながら交渉をどう上手く運んでいくべきか悩んだ時もありましたが、サンプルではありますが実際に相手との取引が始められた達成感はとても大きく、やりがいを感じました。



# 成果と自己成長



留学が終わり、私が現地で調査してきた活動結果をお世話になった八代のいぐさ関係者の方々に向けて報告しました。

今後は社会人にはなりますが、いぐさと関わる機会があれば、一緒に携わり盛り上げていきたいです。

また、私自身熊本に住んでいながら、いぐさの現状を知らなかったという事実から、まずは熊本の若者にこの事実を伝えることが大切であると考え、自分の経験談を八代高校の生徒に向けてお話しさせてもらい、身近にある地域資源の魅力をお伝えさせていただきました。若い世代でこれまで育て上げられた地域資源を引き継いでいくことが大切であると考えます。

**Q. この留学によってどこが成長できたのか？**

**A. 実際に現地での実体験を通して、自分の可能性や知見を広げることができました**

トビタテ留学は、自分で計画書を作成するところから始まり、実際に海外で自分が何をして、どのような行動を起こしていくか一つ一つ全てのことを一人で行っていかなければなりませんでした。もともとこれまで消極的な人生を歩んできた自分にとって、海外での実践活動で現地企業へのいぐさ茶の提案やアンケート調査など特に自分からアクションをとって積極的に行動し、そこから得られた経験と自信はこれからの人生で大きく影響し、糧になっていくと感じています。

# 寄附企業の皆様へ

この度は、トビタテ！留学JAPANへご寄附頂きまして誠にありがとうございました。皆様からのご支援により、私の留学生活が豊かになり、たくさんの経験を得られることができました。そして今後の人生においての可能性や成長できる幅が大きく広がったと感じています。

また私自身、いぐさ留学を通してたくさんの地域の方々との交流をさせていただきました。たくさんの人との触れ合いの中で、これまで知らなかった熊本の魅力や自分の住んでいる熊本の自慢できるところがこんなになるんだ！という発見を数多く感じることができました。そして何より、すごく熊本への愛着が湧きました。

今後は大学を卒業し、県内の企業へ就職します。これからも熊本へ貢献していく人材として、留学で学んできたスキルを社会人としてさらに磨き、熊本の魅力を国内外へ発信をしていけるように精一杯努力していきます。

熊本県立大学 平井慎一郎